

野口南っ子 家庭学習の手引き 保護者版

小学校5・6年生では…

学習時間の目安

45～1時間以上

子どもは、一人前として接してもらっているか、大切にされているかなど、大人が自分を認めてくれているのが、気になるようになり、時には、大人への反抗も見られる時期です。

また、自分を客観的に見つめたり、友だちと比べたりするようになり、得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。小学校の学習のまとめをして、中学校につながる大切な学年ですが、子どもの学習に対する意欲や興味・関心は、教師や家族のアドバイスにより、大きく左右される時期にもなります。

学校で学習する主要内容

5年生

- 学年配当漢字（185字）を読み書きする。
- 異分母のたし算、引き算をする。
- 単位量あたりの大きさを知る。
- パソコンでローマ字入力をする。
- 今まで習った漢字を使った熟語を書く。
- 割合、百分率を使った問題を解く。
- 世界の主な国々の位置を知る。
- 人の誕生や成長、ものの動きの規則性を知る。

など

6年生

- 小学校で習った漢字を読み書きする。
- 歴史に残る古文を暗唱する。
- 歴史上の事件や人物について説明する。
- 生物の体のつくりや動き、ものの燃焼の仕組みを知る。
- 小学校で習った漢字を使った熟語を書く。
- 分数の加減乗除をする。
- 三権分立などの社会用語の説明をする。

など

家庭で学習するときは

- 学習前に、学習する場所の整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を、確実に家の人に手渡し、宿題を自分で確かめ、やる順番も決めましょう。
- 宿題以外に自主学習をしましょう。
- 新聞やテレビニュースをテーマにして、家族で話をするなど、社会の動きに興味を持たせましょう。
- 何時までに学習を終えるか、目標を立てましょう。



生活

インターネットの利用にはルールをつくりましょう

- ・保護者が子どもの使用目的や用途を把握すること。
- ・ネットゲーム等のインターネットの使用時間を決めること。
- ・パソコンは、できるだけ家族共有の場所に設置すること。
- ・フィルタリングソフトを導入するなど、有害サイトへの接触を防止すること。 など

食

栄養バランスの取れた食事をしましょう

成長期にある子どもが、心身ともに健全な発達をするためには、「一日三食」バランスのとれた栄養をとること、適切な睡眠時間を確保すること、適度な運動を行うこと、心が落ち着き、安心して過ごせる家庭があることが大切です。家族みんなが食生活に関心を持ち、健康によい食習慣を身につけましょう。

読書

読んだ本について、家族で話し合しましょう

自分が読んだ本について、家族であらすじや感想を話し合い、家族の会話から自分の考えを深めたり、広めたりしましょう。

また、子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や学習方法、学校の学習の様子や家族の失敗談などを話題にして、目標を持って努力することの大切さを伝えましょう。子どもに「伝記（偉人伝）」を読ませるのもよいでしょう。



学習

予定を立て、計画的に学習を行いましょ

高学年になると、放課後もあわただしく過ごすことも多くなります。その日の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。一日の内で、必ず学習する時間帯を設定しましょう。また、生活リズムの乱れは、勉強嫌いにもつながります。中学校進学に向けて、毎日の生活習慣も見直しましょう。

<国語>

音読 教科書の文章を、間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて読みましょう。詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。

漢字 漢字の構成や字形を意識して書き、習った漢字で、熟語や短文を作りましょう。

<算数>

- ・よく間違える計算は、手順が正しく身につくように、繰り返し練習しましょう。
- ・文章問題は、絵や図に描くなどして、具体的に考えましょう。

<自由課題> (夏休みなどに、ふだんできないことに、家族でじっくり取り組んでみましょう)

- ・家庭科の学習内容を、家庭生活で実践するため、買い物から調理まで、家族でクッキングに挑戦しましょう。
- ・博物館や美術館に出かけ、兵庫県の自然や歴史・文化、絵画などを鑑賞しましょう。